

問1	千葉県のある地域における交通網の整備について、1990年代半ばに東葉高速鉄道が開通した際の変化を述べた資料があります。そこでは大手町駅までの所要時間が60分から46分に短縮され、乗り換え回数も3回から0回になったと示されています。このような「所要時間の短縮」が地域に与えた社会的な背景・理由として、最も適切な説明を選びなさい。（2021年 東京都公立入試 類似）			
	1. 乗り換えの負担が解消されたことで、都心へ通勤・通学する世帯の流入が促進された	2. 鉄道の高速化により、地域の主要産業が農業から工業へとシフトした	3. 地価が急激に下落したため、公的な大規模団地が試験的に建設された	4. 交通網の整備に合わせ、住民の多くが郊外のロードサイド店舗へ移住した
問2	地方自治法に基づく直接請求権のうち、地方議会の解散や、首長（知事や市町村長）・議員の解職（リコール）を求める際、必要となる署名数と請求先の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2021年 東京都公立入試 類似）			
	1. 有権者の50分の1以上の署名を集め、首長に請求する	2. 有権者の3分の1以上の署名を集め、選挙管理委員会に請求する	3. 有権者の3分の1以上の署名を集め、監査委員に請求する	4. 有権者の50分の1以上の署名を集め、地方議会に請求する
問3	1970年代に発生した二度の石油危機による原油価格の高騰を受け、日本がとったエネルギー政策の変遷とその後の状況について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2017年 東京都公立入試 類似）			
	1. 1989年にアジア太平洋経済協力（APEC）を発足させ、中東からの原油輸入を全面的に廃止することを目指した。	2. 石油の輸入量を大幅に増やすことで電力の安定供給を図り、中東以外の地域からの輸入割合が過半数を超えた。	3. 天然ガスや石炭などの活用を進める石油代替政策を推進したが、依然として中東への依存度は高い水準にある。	4. 経済活動を優先するために石油代替政策を中止し、1980年代後半には原油の総輸入量が過去最高を更新し続けた。
問4	19世紀初頭、江戸幕府の命により日本全国の海岸線を実際に歩いて測量し、方位や距離を細かく記録することで、きわめて精度の高い実測地図を完成させた人物は誰ですか。（2018年 東京都公立入試 類似）			
	1. 杉田玄白	2. 間宮林蔵	3. 伊能忠敬	4. 最上徳内
問5	日本の工業地帯の特色について述べた次の文のうち、愛知県付近の統計において、海岸線の長さが約678kmと比較的短く、大規模な長方形の埋立地を造成して工業用地を確保している地域に該当する名称はどれですか。（2022年 東京都公立入試 類似）			
	1. 中京工業地帯	2. 阪神工業地帯	3. 京浜工業地帯	4. 瀬戸内工業地域
問6	明治時代、日本は近代化を推進するために交通網の整備を急ぎました。1872年に新橋・横浜間で日本初の鉄道が開通した際の、社会的な背景として正しいものを次の中から選んでください。（2016年 東京都公立入試 類似）			
	1. 明治政府が掲げた「文明開化」の政策の一環として、西洋の技術を導入し、新たな移動手段を確立しようとした。	2. 所得倍増計画によって国民の生活水準が向上し、長距離移動の需要が急増したことに対応するために建設された。	3. 日露戦争の勝利に伴い、遼東半島の租借権とともに大陸での輸送能力を強化するために建設された。	4. 普通選挙運動の進展に伴い、都市部から地方へ政治思想を広めるための主要な手段として整備された。
問7	広島県の沿岸部に位置し、満潮時には社殿全体が海に浮かんでいるように見える独創的な構造を持つ厳島神社について、その歴史的背景を説明したものとして適切なものはどれか。（2025年 東京都公立入試 類似）			
	1. 北条時宗が、元軍の襲来を退けた後に、武士の精神的支柱とするため鎌倉時代の建築様式で再建した。	2. 聖徳太子が、大陸から伝わった仏教を広めるための拠点として、飛鳥時代に瀬戸内海の中心地に建立した。	3. 足利義満が、室町幕府の財政を潤した中国との貿易を記念し、当時の最新の建築技術を集約して造営した。	4. 平清盛が、宋との貿易による繁栄を背景に、自身の権勢と信仰を示すため平安時代末期に整備した。
問8	日本で最も長い約4445kmの海岸線を持ち、砂の堆積によってできた砂州や砂嘴、陸繋島などの多様な地形が見られる都道府県における工業の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2022年 東京都公立入試 類似）			
	1. かつては地域内で産出される石炭や鉄鉱石を原料に鉄鋼業が発展したが、現在は輸入原料を使用し、自動車部品向けの特殊鋼などを生産している。	2. 日本最大の自動車工業の拠点であり、製造品出荷額のうち輸送用機械が占める割合が極めて高く、関連工場が集中している。	3. 瀬戸内海に面した立地を活かして、古くから造船業が盛んであり、現在は自動車の組み立て工場も多く進出している。	4. 京浜工業地帯の中核として、輸入された原油を精製する石油化学コンビナートや、大規模な製鉄所が海岸沿いに密集している。
問9	1970年から2010年にかけての日本の統計において、65歳以上の人口が占める割合は7.1%から23.0%へと急増しました。この期間の社会保障制度の財政推移を説明した文として、適切なものを選びなさい。（2016年 東京都公立入試 類似）			
	1. 社会保障給付費が社会保険料による収入額を大きく上回って急増しており、給付と負担の差額が年々拡大する傾向にある。	2. 社会保障給付費の増加を補うために社会保険料による収入額も同等のペースで増加し続けたため、1970年以降も財政の均衡が保たれている。	3. 1970年から2010年にかけて、社会保障給付費と社会保険料による収入額はどちらも減少傾向にあり、社会保障制度の規模は縮小している。	4. 65歳以上の人口割合は増えたものの、社会保障給付費の増大は主に児童手当などの少子化対策費によるものであり、高齢化の影響は限定的である。
問10	1960年にアフリカの多くの植民地が独立し、国際連合への加盟国が急増したことによる国際社会への影響について、その背景と仕組みを説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2024年 東京都公立入試 類似）			
	1. 南アメリカ州の国々がこれに同調して一斉に脱退したため、国際連合の組織規模は1960年を境に縮小した。	2. 新しく独立した国々が加盟したことで、国際連合における発展途上国の割合が高まり、その発言力が強化された。	3. アフリカ諸国が旧宗主国であるヨーロッパ諸国と軍事同盟を結んだことで、国際連合内でのヨーロッパの権限が拡大した。	4. 加盟国の急増により、アメリカとソ連を中心とする冷戦構造が解消され、国際連合の安全保障理事事が廃止された。
問11	富山県の砺波平野に見られる散村では、かつての地形図と現在のものを比較すると、家々の間を縫うように走っていた細く曲がりくねった道路が、格子状の直線的な道路へと変化している様子が確認できます。このような景観の変化をもたらした主な背景として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 東京都公立入試 類似）			
	1. 鉄道網の廃止に伴い、線路跡地を生活道路として再利用したことで、広い直線道路が確保されたため。	2. 急速な宅地化が進んだことで、かつての農道が廃止され、住宅地を優先した都市計画道路が新設されたため。	3. 減反政策の影響で水田が大幅に減少し、余った土地をバイパス道路などの公共用地に転用したため。	4. 農業構造改善事業により、大型の農業機械が利用しやすいよう、耕地整理と併せて道路が再整備されたため。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 乗り換えの負担が解消されたことで、都心へ通勤・通学する世帯の流入が促進された	交通網の整備によって都心への所要時間が短縮され、乗り換えが不要になることは、居住地としての魅力を大きく高めます。八千代中央駅周辺では、この利便性の向上を背景に、都心で働く人々の住居確保が可能となり、それまで農地として利用されていた土地が次々と住宅地へと用途を変えていきました。
問2	答え 2 有権者の3分の1以上の署名を集め、選挙管理委員会に請求する	議会の解散やリコール（解職）は、住民の代表者としての身分を失わせる非常に強力な権利であるため、条例の制定・改廃や事務の監査請求（50分の1以上）に比べて、より多くの署名（原則として有権者の3分の1以上）が必要とされます。また、選挙に関わる身分を問う性質上、請求先は自治体の選挙管理委員会となります。請求が有効であれば、住民投票が行われ、過半数の同意があれば解散や解職が決定します。
問3	答え 3 天然ガスや石炭などの活用を進める石油代替政策を推進したが、依然として中東への依存度は高い水準にある。	1970年代の石油危機により原油価格が高騰したことをきっかけに、日本は特定のエネルギー源に依存しすぎないよう、天然ガスや石炭、原子力などの導入を進める石油代替政策を強力に推進しました。この影響で、統計上も1970年代後半から原油の輸入総量は減少傾向に転じていますが、輸入先を詳しく見ると中東地域への依存度は依然として高い状態が続いています。1989年には地域的な経済協力の枠組みとしてAPECが発足し、日本もこれに加盟しました。
問4	答え 3 伊能忠敬	江戸時代後期、外国船の来航という対外的な緊張が高まる中で、幕府は国防上の観点から正確な日本地図を必要としました。これを受け、50代半ばから約17年をかけて全国を測量し、没後に『大日本沿海輿地全図』としてまとめられた実測地図は、当時のヨーロッパの地図と比べても遜色ないほどの高い精度を誇りました。
問5	答え 1 中京工業地帯	愛知県を中心とする中京工業地帯は、工業出荷額が日本一の工業地帯です。伊勢湾の沿岸部には大規模な埋立地が造成されており、そこには鉄鋼業や石油化学工業などの原料輸入に便利な重化学工業の工場が並んでいます。他の工業地帯と比較して、計画的に造成された大規模な埋立地が特徴的です。
問6	答え 1 明治政府が掲げた「文明開化」の政策の一環として、西洋の技術を導入し、新たな移動手段を確立しようとした。	明治政府は「富国強兵」や「殖産興業」と並んで「文明開化」を推進しました。鉄道の開通は、蒸気機関という西洋の高度な技術を導入することで日本の近代化を象徴する出来事となり、人や物の輸送効率を劇的に向上させる出発点となりました。
問7	答え 4 平清盛が、宋との貿易による繁栄を背景に、自身の権勢と信仰を示すため平安時代末期に整備した。	平安時代末期、武士として初めて太政大臣となった平清盛は、安芸国（現在の広島県）の厳島神社を平氏の一族の守り神として篤く信仰しました。清盛は日宋貿易によって得た莫大な富を背景に、それまでの常識を覆す海上に建つ壮麗な社殿を完成させました。この建築には、当時の貴族文化を象徴する寝殿造の様式が取り入れられており、平氏が武士でありながら貴族的な性格を併せ持っていたことを象徴しています。他の選択肢にある聖徳太子や足利義満、北条時宗は、建立の時期や目的が事実と合致しません。
問8	答え 1 かつては地域内で産出される石炭や鉄鉱石を原料に鉄鋼業が発展したが、現在は輸入原料を使用し、自動車部品向けの特種鋼などを生産している。	問題文にある4445kmの海岸線や砂州、砂嘴といった地形的特徴は北海道のものです。北海道の室蘭などでは、明治時代から道内で産出される石炭や鉄鉱石を利用した鉄鋼業が栄えました。現在は資源の状況変化により輸入原料へと転換していますが、長年培った技術を活かし、自動車の重要部品に使われる高品質な特殊鋼の生産などで重要な役割を担っています。
問9	答え 1 社会保障給付費が社会保険料による収入額を大きく上回って急増しており、給付と負担の差額が年々拡大する傾向にある。	統計データによると、1970年から2010年にかけて高齢化率が約3倍に上昇する中で、社会保障給付費は社会保険料による収入額よりもはるかに速いスピードで増加しました。1970年頃は両者の差はわずかでしたが、高齢化に伴い年金や医療費の支払いが増えたことで、保険料収入だけでは足りない金額（財政負担額）が年を追うごとに大きくなっています。
問10	答え 2 新しく独立した国々が加盟したことで、国際連合における発展途上国の割合が高まり、その発言力が強化された。	1960年の「アフリカの年」を境に、国際連合の加盟国構成は大きく変化しました。多数の独立国が誕生し加盟したことで、総会などの議決において発展途上国の意見が無視できないものとなり、人種差別の撤廃や南北問題の解決といった課題が国際社会でより重視されるようになりました。
問11	答え 4 農業構造改善事業により、大型の農業機械が利用しやすいよう、耕地整理と併せて道路が再整備されたため。	砺波平野の散村地域では、農業の生産性を高めるために「農業構造改善事業」が行われました。この事業では、不整形だった田んぼを四角く整える耕地整理とともに、大型のトラクターやコンバインが通行しやすいよう、曲がりくねっていた古い道路が直線状の道路へと作り替えられました。このため、現在の地図では規則正しい格子状の道路網が目立つようになっています。